

# お ぜ 尾瀬を守るとりくみ

## こうしゅう ■公衆トイレ

おぜこくりつこうえん  
尾瀬国立公園には公衆トイレが21ヶ所にあ  
り、おとずれた人が気持ちよく使えるようき  
れいにされています。また合併処理浄化そう  
がっぺいしよりにじょうか  
により、トイレの水はきれいにされ、尾瀬を  
よごさないようになっています。



## もくどう ■木道

尾瀬では湿原を守るために木道がしかれてい  
ます。そのため初めて訪れる人も尾瀬の自然  
に親しむことができます。また、木道の上を  
歩くことで湿原へのふみ込みがなくなり、尾  
瀬の湿原を守ることにつながっています。



**尾瀬の自然環境を守るためには  
たくさんの費用がかかります。  
トイレチップにご協力をお願いします。**  
このパンフレットを開くと  
尾瀬のトイレのしくみがわかります。

発行／群馬県自然環境課尾瀬保全推進室  
協力／公益財団法人 尾瀬保護財団

このパンフレットは再生紙を使用しています。 R40 R3.3\_10,000

## 尾瀬山の鼻ビジターセンター

# お ぜ 尾瀬を守るしくみ こうしゅう もくどう -公衆トイレ、木道-



トイレの水は  
どこに行くのかな？  
木道って  
どうなってるのかな？

## いまはカラマツの木をつかった2本の木道で環境にやさしいです



木道をつくるときは、むかしと変わらずへ  
て人の手でおこなわれています。おほかかり  
な機械をつかうと湿原をきずつけてしまいか  
らです。木道は7年から10年ごとにとりか  
えられています。

いまでは“湿原を荒らさずに歩けるように”  
するために木道がつけられています。環境に  
やさしいつくり方が工夫されていて、2本の  
木道にして、たくさんの方が使えるようにな  
りました。



## 木道のはなし(2)いま

## はじめは尾瀬からきり出した木をつかった1本の木道でした



はじめは、木道は1本道で木をしいただけの  
ものでした。木道はせまいので、すれちがう  
ときに湿原に降りて歩く人もいました。その  
ため、訪れる人があつたときに湿原が荒れ  
てしまいました。

尾瀬にまだ木道がない頃は、訪れた人はどこで  
も歩くことができず、しかし歩きにくかっ  
たり、ぬかるみに足がはまり、ぬけ出すのに苦  
労するようになるともありました。そこで“人が  
歩きやすいように”という目的で、木道がつけ  
られるようになったのです。



## 木道のはなし(1)むかし





# たくさんの方が 利用するトイレ

おぜ  
尾瀬には毎年たくさんの方がおとずれ、トイレを利用します。時にはトイレの前に行列ができることもあります。



# 浄化そうで きれいに

じょうか  
トイレのうらの合併処理浄化そうという施設で、よごれた水をきれいにしています。

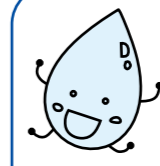
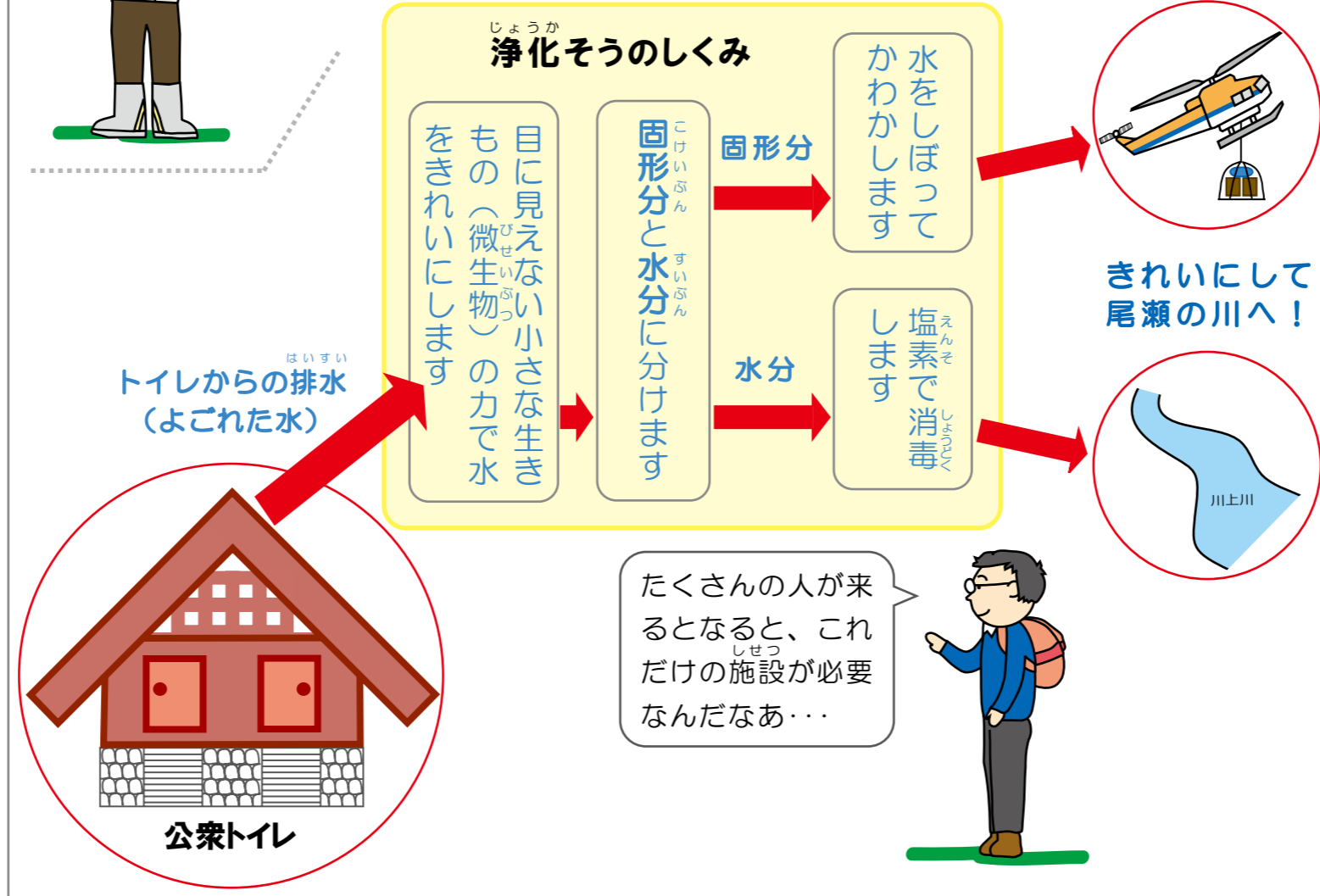


# トイレの水のゆくえ



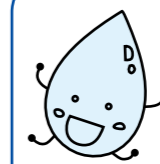
おぜ  
尾瀬にやってきた人が利用したトイレの水で湿原をよごさないようにくふうしています。このしくみは浄化そうといい、みなさんの町にある下水をきれいにする施設と同じです。

## 山/鼻地区では



# 固形分(汚泥)は尾瀬の外へ

こけいぶん おでい  
固形分(汚泥)は、尾瀬の自然をよごさないために、ヘリコプターで尾瀬の外へ運び出します。



# トイレの水はきれいにしてから川へ

トイレの水はイワナがすめるほどきれいな水になって、川に流されます。



# 多くのおかげで水がきれいになります



トイレの浄化そうは、浄化そう屋さんの手によって管理されています。浄化そう屋さんは、週1回尾瀬にやってきて浄化そうの点検をします。きれいなトイレをかげで支えてくれているのが浄化そう屋さんなのです。